

登録コード	ASN03677	開講年度	2026				
授業科目	特別研究					担当教員	内川 義行
英文授業名	Graduate Research					副担当	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	教員内線電話:2470（研究室名：農村計画学研究室）
信大コンベンション	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ						
	【専攻】生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	農村および計画に関する専門的な知識と思考をもとに研究を企画・実施し，適切にデータを取得・解析できるとともに，客観的・論理的に考察し，論文としてまとめることができる。
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力，批判的思考力を有し，農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	農村および計画に関する専門的な知識と思考をもとに研究を企画・実施し，適切にデータを取得・解析できるとともに，客観的・論理的に考察し，論文としてまとめることができる。
授業の概要	野外調査とその分析・検討を実施する。						
Contents:	Students will learn a lot of skills such as planning of investigations and experimental techniques for study on rural regional planning throughout their own research.						
授業計画	中山間地域の里地・里山地域における農村計画研究、特に棚田地域の整備・保全に関する技術開発と地域活性化のための実践を行う。最終回には授業アンケートを実施する。						
成績評価の方法	調査研究の企画、提案、実施の各内容について、①論理性、②正確性、③独創性を中心に評価する。						
成績評価の基準	i）課題の背景・目的を説明でき，ii）課題への接近方法を適切に把握・実施しており，iii）結果について適正な処理とまとめができ，さらにiv）自らの見解を考察に既述できている。以上の，i）からiv）を満たしていれば「かなり上にある」。三項目までできていれば「やや上にある」。二項目までは「水準にある」とする。						
事前事後学習の内容	配付資料や参考書を事前に確認し，実施する内容について常に確認すること。 また，調査・研究した内容は，紹介した図書等についても十分に参考にし，それを深めること。						
履修上の注意	レジュメ作成および研究レポート作成を課す。						
質問,相談への対応	各回の課題提出・発表による。						
学生へのメッセージ	消極的な参加の方は遠慮ください。						
【教科書】	木村和弘他「持続的農業のための水田区画整理」（農林統計協会） 木村和弘「棚田の保全と整備」（農林統計出版）						
【参考書】	指定しない。各回で随時紹介。						